

一期一絵・・・

SILKLAND

gallery news & communication

No.116
ギャラリー通信 July 2018
<http://www.silkland.co.jp>



飯田 文裕



三鐘 彩音



荒井 真史



上根 拓馬



山寄 雷蔵



櫻井 尊



鈴木 泰斗



畑中 尊

— one step beyond —

新鋭作家セレクション展

2018年 7月8日(日)~21日(土) ※最終日は午後5時閉廊

ギャラリートーク&レセプション 7月8日(日)午後5時から

ごあいさつ

目に見えない感覚、日々の暮らしに潜む何気ない疑問、記憶の奥底にある大切な風景、描くことでこうしたモチーフを探求する若いアーティストたちは数多く存在します。ただし、ある時期からそれらの捉え方や、視野も次第に変化し次なるステップを迎えることでしょう。今展に集まった8名からは、今がどの段階へ踏み出そうとしている一歩なのかを楽しみながら将来を見据えつつご高覧いただけましたら幸いです。

平成30年7月

シルクランド画廊



《白藤とクレマチス》F20

飯田 文香 Ayaka Iida

1990年 横浜市生まれ
2014年 多摩美術大学絵画学科日本画専攻卒業

季節の花が好きでよくモチーフにします。満開の時も綺麗なのですが、蕾や咲きかけ、萼や葉、移り変わる姿にも魅力を感じます。出来るだけその印象を留められたら、と願いながら制作しています。



《向日葵・萼》P6

鈴木 泰斗 Taito Suzuki

1986年 東京都東村山市生まれ
2013年 多摩美術大学造形表現学部
日本画科卒業



《繋ぐⅠ》SM

筆を手に画面に向かっていくと、ごく稀に、描いているものが自分の手から離れ、自ら生命力を持ち独特の色彩を放つ瞬間がある。その瞬間が何よりも表現する者の喜びである。



《繋ぐⅡ》F4



《水平線 - 手 - 》36.5 x 26 cm



《水平線 - 兎 - 》36.5 x 26 cm

岩崎 夏子 Natsuko Iwasaki

1986年 平塚市生まれ
2012年 多摩美術大学絵画学科日本画専攻卒業
2013年 ベルリン芸術大学短期派遣交換留学
2014年 多摩美術大学大学院美術研究科専攻博士
前期課程修了

光琳や宗達、酒井抱一といった琳派独自の装飾性やデザイン性を、現代的にアレンジ、再構成し日々制作しております。構図、線、形、視点、空間に日本的な美意識が無意識の内に入り込んでくるのは、私が日本で生まれ、多くの自然と触れ合う環境の中で育ったからでしょう。ベルリンへの留学を経てその意識は無意識から強い自意識へと変わっていきました。



《執着》50号

三鑰 彩音 Ayane Mikagi

1988年 鎌倉市生まれ
2017年 多摩美術大学大学院美術研究科
絵画専攻日本画研究領域修了
現在 多摩美術大学日本画研究室副手

女性像を描くのは自己投影の意識が強いです。美しさに理想を重ね、表情と共に髪の毛の表現に感情を委ねています。髪の毛は美しくも恐ろしくも魅せる不思議なもので、女性像はその魅力を様々な形で引き出してくれます。描くことで日々うつろいゆく様々な感情を無いものにせず、形にして、昇華させ、無意識だった何かを意識し、自己を知ることが出来るのです。



《美しい日》59.4×42cm

上根 拓馬 Takuma Kamine

1978年 大阪府生まれ
2002年 東京造形大学美術学科絵画専攻卒業
現在 東京造形大学絵画専攻非常勤講師

フィギュアを表現手段とし、精神性をこめた立体をGuardianと呼んでいる。幼き日、仏像やアニメから感じた『畏怖と畏敬の念』をダイレクトに表現するための手段であり、人生において蓄積され続ける様々な感覚を内包する聖櫃・匣の役割を担っている。



《ガーディアン・the Devas 日天》190×110×60 cm



《舞飛（ひらり）M6

Marina Furuya 古屋 麻里奈

1988 横浜市生まれ
2008 東京田中短期大学造形学科卒業

日本の伝統的な柄を動物の模様として作品を描いています。『柄』は人柄や事柄という意味と捉え個性を際立たせます。私達も生き生きとした個性を持って楽しく生きていければと思います。



《彩奏（かなで）S4



《Sansevieria Boncellensis》SM



《Graptopetalum Pentandrum》S0

山崎 雷蔵 Raizo Yamasaki

1991年 長崎県生まれ
2016年 多摩美術大学大学院美術研究科絵画
専攻日本画研究領域修了
現在 多摩美術大学日本画研究室助手

西洋のテンペラ技法で用いられる石膏下地に、岩絵具や膠などの日本画材を使って制作しています。今回は新しい試みとして、植物をモチーフとした作品をメインに出品いたします。



《相撲》30×40cm

江上 越 Etsu Egami

1994年 千葉市生まれ
2016年 中国中央美術学院 大学院生 劉小東研究室
2017年 ドイツのZKM 内カールスルーエ造形大学
(HfG) に交換留学



《Good day》F4

環境や宗教に対する接し方の違い、アートセラピーでの体験。交換留学先のドイツでは、今まで経験していなかった事や、違う概念が重なっていくうちに、芸術は一体何ができるのだろうか、また生きることは何か。考えさせられることが多くありました。

Information
展覧会情報



棟方 志功《風子の柵》板画

7/22~8/5 夏の特選絵画逸品展

没後も高い評価と人気を誇る物故作家の逸品を含め、現在活躍中の有名作家と合わせて30余点を展示いたします。

8/6~11 常設展



中山 無窮《白龍》F40

8/12~18 中山 無窮水墨画展

一昨年の「アニマルKARUTA」展以来、当画廊3回目の水墨画展を紹介いたします。

シルクランド画廊 開廊時間:11:00→19:30(土・日・祝日は18:30まで)

〒104-0061 東京都中央区銀座 6-5-11 第15丸源ビル1階

Tel 03-5568-4356 Fax 03-5568-4357

http://www.silkland.co.jp e-mail gallery@silkland.co.jp

アクセス ■ 地下鉄丸の内線、銀座線、日比谷線「銀座駅」B7,C2出口 徒歩2分 ■ JR「新橋駅」銀座出口 徒歩6分

